

支部消息

日本医史学会関西支部 昭和六十三年春季大会

— 津山洋学資料館開設十周年記念 —

日本医史学会関西支部・津山洋学資料館／共催

会長 中山 沃（岡山大学教授）
 とき 昭和六十三年七月九日（土）、十日（日）
 ところ 津山国際ホテル 岡山県津山市山下九八
 ○八六八―二三―一一一
 参加費 二、〇〇〇円

第一日

七月九日（土）津山市内洋学史跡めぐりと懇親会

午後二時に津山国際ホテルロビーに集合

津山洋学資料館見学後、市内洋学史跡めぐり

箕作阮甫旧宅―津田真道宅跡―箕作家墓所―科学博物館等

懇親会 午後六時半 津山国際ホテル（懇親会費九〇〇〇円）

第二日

七月十日（日）午前九時（津山国際ホテル）

プログラム

開会のことは……………中山 沃 会 長

歓迎の辞……………水 田 楽 男 津山洋学資料館館長

一般演題

1 江戸中後期医家の住宅―津八町谷川土清旧宅

について……………茅 原 弘（津 市）

2 中濱東一郎の金沢医学校への赴任辞令

……………寺 畑 喜 朔（金沢 市）

3 黄帝内経における予防医学

……………山 本 徳 子（横 浜 市 大）

4 明治三十年頃までの陸軍軍医に関する二、三

の知見……………佐久間 温 巳（西尾市民病院）

5 「蘭医柔流接骨手練書」と「耕牛先生経験綱帯

之記」について……………蒲 原 宏（県立がんセン
 夕田川榛齋著「遠西医範」と「西説医範」の

比較研究……………中 山 沃（岡山大学医学部）

7 箕作阮甫の大窪黄齋宛書翰

……………杉 立 義 一（京 都 市）

8 藤原鉄太郎（岡山県医人）の京都に於ける

晩年―その手紙から―……………奥 沢 康 正（京 都 市）

9 「供覧」津下精斎の温顔、他数葉の写真

……………杉 本 茂 春（天 阪 市）

昼食

特別講演(午後一時〜二時)

津山藩主、松平慶倫夫人儀姫の乳ガン治療

10 新見市名誉市民加藤元一の業績
津山洋学資料館名誉館長 木村岩治

11 箕作阮甫訳「古今史略」の原著者及び原本
古川 明 (篠原病院
東京都杉並区)

12 本邦最初の「薬化学訳書」—宇田川槐園
鳥井 裕美子 (九州大学講師)

13 日本初の西洋小児科学書—宇田川玄真訳
『小兒諸病鑿法治法全書』について—
宗田 一 (京都市)

14 津田真道と道家大門
石田 純郎 (三菱水島病院)

15 在村医小林令助にあてた吉益家からの書翰
原 三正 (倉敷市)

等について
下山 純正 (津山洋学資料館)

閉会のことば
長門谷 洋治 (日本医史学会
関西支部)